

中学道徳通信



特集 キャリア教育と道徳

対談

職場体験をゴールにしない中学校のキャリア教育

白木みどり 金沢工業大学基礎教育部教授 × 堀川博基 埼玉県富士見市立富士見台中学校校長



新商品開発も生まれる
校内ワークショップ

谷 信彦 練馬区立豊玉中学校

地域社会で鍛えられる
コミュニケーション力

猪又正己 世田谷区立用賀中学校

スペシャルインタビュー
障がい者が自立できる
職業スキルを！

高橋陽子 ダンウェイ株式会社代表取締役社長

すべてに役立つデジタル授業のツボ④
「シヤムボード」の賢い利用法

小倉千明 ジャーナリスト



特集 キャリア教育と道徳

子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していきつづけることができるようにする教育が強く求められている。文科省の「キャリア教育」とは何か、でこう述べられています。

しかし、現実的には職場体験こそがキャリア教育という風潮がなきにもあらずの感があります。

そこで、職場体験にとどまらないキャリア教育について、造詣が深い白木みどり先生と堀川博基先生の対談、現場で独自のキャリア教育を実践している先生方の取り組みをご紹介します。

キャリア教育と

道徳教育は

クルマの両輪

—本来、キャリア教育とはどう在るべきものだとお二人は捉えていますか。

堀川 キャリア教育が最終的に目指しているのは、社会的・職業的な自立です。今までも増して予測が不可能な時代を子どもたちがたくましく生き抜いていくうえでは、キャリア教育の充実が重要だと思います。そのためにも、学校教育全体にリアリティがあり、社会で通用する教育が求められてきます。

一時期、学校教育が時代のニーズに追いつかないと指摘されたことがありました。その反省を踏まえ、今日の学びを明日の生活にさっそく活用できるという能力、その根本を身につけることがキャリア教育だと私は考えています。そうなること必然的に、知識や技能を身につけさせるだけにとどまらず、道徳教育や生徒指導などを通じて人間性を養っていくことが不可欠となります。

白木 ただ、とにかく子どもたちに「職場体験をさせればそれでよし」との理



解のもとで、キャリア教育が形骸化されている側面が見られるのも確かですね。かつては進路指導が単なる就職斡旋と揶揄され、そういった「出口指導」偏重の傾向から脱却するために、キャリア教育が確立されました。

つまり「職場体験」や「キャリア教育」などといった短絡的なものではなく、もっと体系的なものなのです。その点を踏まえれば、子どもたちにとって不可欠な教育だと言えます。なおかつ、

キャリア教育と道徳教育とは両輪となつて役割を発揮すべきもの。キャリア教育によって社会に出てからの自分について目を向けてもらう一方、道徳教育によって考え方や価値観を養っていくことが大事です。

堀川 白木先生がおっしゃった通り、教える側の誤解も見受けられますね。職場体験がキャリア教育のゴールであるかのように捉え違えているのです。「出口指導」偏重の話にしても、70年代

職場体験を「ゴールにしない

中学校のキャリア教育

文／大西洋平 写真／末松正義

対談

白木みどり

金沢工業大学基礎教育部教授

×

堀川博基

埼玉県富士見市立
富士見台中学校校長



の受験戦争時代に偏差値による輪切りの進路指導に端を発したものだと言えるでしょう。もともと、昔の進路指導にしても、本来は自分自身の力で生き抜いていくための生き方指導のはずでした。今の時代に求められているキャリア教育とは、そういった意味で原点回帰なのかもしれません。

内容のものが少なくありません。もちろん、早いうちから自分の夢や特定の職業への憧れを持つのは有意義ですが、それらが見つかからないことを否定するような指導は考えものでしょう。キャリア教育はもっと奥が深く、人生そのものについて広く考えるものであるべきです。

特にキャリア教育と関連性が高いのは、内容項目の「A」
—キャリア教育と道徳教育を両輪として機能させるためには、特にどういったポイントを注視すべきでしょうか。
白木 最近、大学を卒業していったん社会に出てから、大学院で学び直す人が増えています。彼らの多くがキャリア教育を受けていないのがその一因かもしれません。内容項目で言えば「A」（主として自分自身に関すること）が基盤となる部分が足りないのでしょうか。内容項目の「A」における学びとは、まず自分自身について理解して適性に気づき、生き方について正面から考えてみることに。キャリア教育との親和性も高いテーマですし、道徳教育では特に注力したいところでしょう。

堀川 白木先生も同行された欧州訪問の際、私はフィンランドの子どもたち「将来の夢は？」と質問しました。おそらく日本の子どもたちなら、大半が将来の職業のことを口にするでしょう。ところが、フィンランドでは「もっと自然が豊かな場所で、ゆつくりと読書を楽しみたい」と答えた子どもがいたのです。

平成23年（2011年）1月の中央教育審議会答申で、「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」として4つの「基礎的・汎用的能力」が定義されました。そのうちの1つに「自己理解・自己管理能力」が挙げられており、キャリア教育における極めて重要なテーマとなっています。まさに

もちろん、あくまでそれは価値観の違いという問題であって、日本の子どもとフィンランドの子どものどちらが正しいという話ではありません。ただ、働くことは大事ですが、人生はそれだけでなく、自分自身のこと、仕事以外のことも含めて、自分の生き方についてきちんと考えることが求められてきます。そういった観点から捉えると、キャリア教育と道徳教育は、クルマの両輪として役割を発揮していくのが望ましいでしょう。

重要なテーマとなっています。まさに



対談
白木みどり
 金沢工業大学基礎教育部教授
 ×
堀川博基
 埼玉県富士見市立
 富士見台中学校校長

これは、道徳の内容項目の「A」とリンクするものです。「自己理解・自己管理能力」によって人間関係を形成していくことをキャリア教育では重視しており、道徳の授業を進めるうえでもその関連を強く意識していただきたいものです。

堀川 道徳だけにとどまらず、特別活動もしかりで、学校教育の全般がキャリア教育と深く関係していると思います。学校におけるすべての活動は、キャリア教育と深く関係しているという意識で取り組みたいところでしょう。また、キャリア教育のゴールではないものの、職場体験の効果は大きいのも確かです。今でも多くの生徒たちは、卒業時に中学時代の思い出について聞かれると職場体験のことを口にします。いい意味で、子どもたちの心に印象を残しているのでしょう。

白木 大いに効果を発揮した取り組みと言えば、兵庫県が1998年から実施している5日間の職場体験「トライやる・ウィーク」が挙げられますね。1995年の阪神・淡路大震災や1997年の神戸連続児童殺傷事件を機に、中学生に働く場を見せて学習させる趣旨で、県内の中学2年生を対象に行っているものです。

3日間程度で終わる職場体験が主流の中で5日間も費やし、相当な予算も投じた結果、地域や教育の復興を促進

column

キャリア教育の必要性と意義

文科省ではキャリア教育が提唱された背景からその必要性と意義などを明記していますので、キャリア教育の授業を行う際に確認されることをおすすめします。以下、要約。

子どもたちが希望をもって、自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくためには、変化を恐れず、変化に対応していく力と態度を育てることが不可欠。そのためには日常の教育活動を通して、学ぶ面白さや学びへの挑戦の意味を体得させることが大切である。未知の知識や体験に関心をもち、仲間と協力して学ぶことの楽しさを通して、未経験の体験に挑戦する勇気とその価値を体得することで、学び続ける意欲を維持する基盤をつくることができる。自然体験や社会体験等の体験活動は、他者の存在意義を認識し、社会への関心を高め社会との関係を学ぶ機会となり、将来の社会人としての基盤づくりともなる。それには、学校の努力だけではなく、家庭・地域が学校と連携して、同じ目標に向かう協力体制を築くことが不可欠である。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afiedfile/2011/06/16/1306818_04.pdf



するきっかけになりました。生徒たちと彼らを受け入れる側が丸となって取り組んだ結果、大きなパワーが生まれたのです。生徒たちが貴重な体験を得られるだけでなく、受け入れる側も彼らから元気を分けてもらえたと非常に好評だったようです。

—もつとも、コロナ禍では人と人が直接的に触れ合う職場体験をなかなか実施しづらいのが実情ではないでしょうか。

堀川 当校でもここ2年間、職場体験の実施を見合わせています。地元の商業施設や事業所など、生徒たちを受け入れてくれる方々が置かれている状況を踏まえると、やはり難しいというの

が実情です。しかしながら、文部科学省が2019年からGIGAスクール構想を推進した結果、生徒1人に1台の情報端末が与えられており、その活用によって新たな試みも可能となっています。

今までのような直接的な体験学習ではどうしても地域性にとらわれてしましますが、インターネットならどこにでもアクセスでき、従来なら直接話を聞くことが難しかった遠方の方、時間的に制約のある方などもつながることが可能です。こうしたことから、対話による体験の選択肢は間違いなく広がりましたね。

通常の体験学習が難しい なら「コロナ禍でも できること」を考える 姿勢が大事

白木 職場体験に限らず、修学旅行の実施を見合わせるケースも多いようですが、その一方でユニークな取り組みを行う学校もあります。コロナ感染者数が非常に少ない県を修学旅行先に選び、現地の農家に宿泊させてもらって生徒たちに農業を体験させるという試みがその一例です。

また、修学旅行を取り止める代わりに、飛行機をチャーターして生徒たちに遊覧飛行を楽しんでもらうという企画を実施している学校もあります。特に地方では飛行機は初体験という子どもが少なくないうえ、搭乗までの道中を通じて航空に携わる様々な仕事を観察することも大きな学びとなります。「コロナ禍だから修学旅行は中止」で話を終わらせず「コロナ禍でもできること」を考える姿勢が大事です。

堀川 ただ、生徒たちはもちろん、コロナ禍で新卒採用された教員たちは本当に気の毒だと思います。今年から春の校外学習を再開したのですが、生徒たちとバスに同乗するのが初めての経験です。つまり、校外学習における学級指導

を進めるべきか戸惑っている新卒教員を間近で見ると、つくづくそう感じました。最後に、職場体験を終着点としないためのキャリア教育の在り方について、改めてアドバイスをお願いいたします。

白木 OECD（経済開発協力機構）は2019年5月に、学習の枠組「ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）」を公表しました。そして、「生徒はウェルビーイング（本質的に価値がある状態）の道筋を見つけて出すためにラーニング・コンパスを用いる」ことに言及しています。道徳教育でも「よりよく生きること」を追求しているように、ウェルビーイングは今に始まったことではなく、人間にとつて根源的な欲求です。

ウェルビーイングを探求するうえで、道徳教育とともにキャリア教育の視点も求められます。その意味でも、キャリア教育を職場体験で終わらせるので

はなく、多様な人々との関わりを通じて体験や知識を積み重ねながら、自分が働くことについて正面から考えてもらうことが大事。その結果、価値観形成が個々の生徒の成長過程で連鎖して養われていきます。

堀川 生徒たちに強く印象づけるという意味ではイベント性の高さも大事ですが、「キャリア発達を促す」という真の目的を忘れてはいけないと思います。私が小学校の校長を務めていた頃、非常に驚いたことがありました。「なぜ教師になったの？」と新卒の教員に質問したところ、「中学校の職場体験が楽しかったからです」と答えたのです。中学生という発達段階で、職場体験などを経験し、将来や行き方について何らかの新たな価値観を見つけ出す生徒が増えていくことを願っています。



白木みどり しらきみどり

金沢工業大学基礎教育部教職課程教授

1958年生まれ。小中学校の教諭、「中学校キャリア教育の手引き」文科省作成委員、「道徳教育充実に関する懇談会」文科省委員、中教審専門部会委員などを経て、2014年より現職。「アクティブ・モラル・ラーニングの授業づくり」をはじめ、キャリア教育、道徳教育関連の著書多数。講演、研究会で全国を飛び回る。弊社中学校道徳教科書代表著者。

堀川博基 ほりかわひろき

富士見市立富士見台中学校校長

1962年生まれ。文科省の「中学校職場体験ガイド」作成にかかわるなど、キャリア教育の創成期から実践・研究を重ねる。荒れた時代にキャリア教育によって生徒が前向きに成長していく様子を目の当たりにしてキャリア教育の有効性を実感する。キャリア教育、道徳に関する著書多数。

新商品開発も生まれる 校内ワークショップ

谷 信彦

東京都練馬区立豊玉中学校

依然としていつ終息するか誰にもわからない新型コロナウイルスの感染拡大。中学生の職場体験にも影響を及ぼし、新たな取り組みが始まっています。東京都練馬区の豊玉中学校でスタートした起業体験プログラムの内容を谷先生に伺いました。

文／森田健司 写真／編集部

コロナ禍で職場体験から起業体験へ

これまで本校では、ごく一般的なやり方ですが、キャリア教育の一環として2年生が2日間職場体験をしてきました。ところが、コロナ禍によって地域の事業所などにお願してきた職場体験の受け入れが難しくなっていました。

そこで、職場体験の代わりに昨年6月から10月にかけて計33時間、2年生を対象に起業体験を通して働

くことの意義を理解し、生き方を考えるきっかけとする起業体験プログラムを実施することになりました。

このとき起業体験をした2年生は1年生の3学期には、職業探究として世の中にどんな職業があるのか、どんな活動をしているのかなどについて、地域の職業人に来ていただいたお話を聞き、学習していました。

そして2年生になった1学期には、人生において「なぜ働くのか」をテーマに議論したり、人生ゲームに似たカードゲームをワイワイやりながら「将来いくらかお金が必要になるのか」

をシミュレートしライフプラン

を考えたりと、起業体験プログラムの助走段階をスタートしました。

次の段階は商品開発のテーマを決めることです。このテーマを決定するにはSDGs(国連総会で採択された持続可能な開発のための17の国際目標)の課題解決とか、練馬区の地域課題の解決といったハードルをクリアすることとしました。アフリカの気候に適したクッキーや食べられるストロー、すぐにも発売できそうなアプリの開発など、さ



谷 信彦 たにのぶひこ

1981年生まれ。東京の大学の教育学部を卒業後、故郷の香川で教師3年、東京で消防士3年、その後教師に復帰と異色の経歴。今年から教務主任を務め、道徳教育を推進。社会科専門。

まざまなアイデアが浮上しました。ただ、生徒が投資家にビジネスプランを提案したり、商品紹介や販売のためプレゼンテーションするのを動画で撮影し、東京証券取引所の投資家役の方に見ていただいて、出資や購入をお願いすることも予定していたのですが、コロナ禍であきらめざるを得ませんでした。

先生には生徒の企画書に意見や感想という以上にダメ出し、アイデア出しをしていただければと思っています。

模擬株式会社設立 (専門家が点検)	【9月】 第17時～18時 (2コマ)	○会社設立の手続きについての説明(1コマ) ※講師 ・会社の成り立ち ・会社設立書類の作成・確認 ・会社設立と現金管理 ○会社設立手続き完成(1コマ)
資金を元手に 仕入れ・商品開発	【9月】 第19時～22時 (4コマ)	○商品開発(4コマ) ・資金を元手に、商品の詳細を考える。 →見本の商品を1つ作成 ・商品の宣伝方法を考える。(ポスター等)
販売活動 (プレゼン)	【9月～10月】 第23時～27時 (5コマ)	○商品紹介のプレゼン準備(3コマ) ・スライドで商品紹介の資料作成 ・プレゼン練習 ○販売のためのプレゼンテーション本番(2コマ) <実施内容> 1コマ目：A組によるプレゼンテーション 参加者(1学年・2学年B組) ポスターセッション形式 ※1人1000円分の特別紙幣→購入 2コマ目：B組によるプレゼンテーション 参加者(3学年・2学年A組) ポスターセッション形式 ※1人1000円分の特別紙幣→購入 プレゼンを動画で撮影し、東京証券取引所の投資家の方に見ていただき、購入をお願いする。
決算の実施	【10月】 第28時～30時 (3コマ)	○決算書を作成する。(3コマ) ※講師 ・決算、監査とは ・決算書の内容 ・税金について ・決算書作成・ワーク ・株主総会について
株主総会で ビジネス結果発表	【10月】 第31時～32時 (2コマ)	○株主総会に向けてのまとめ作成(2コマ) ・プレゼン資料をスライドで作成 ・資料をドキュメントで作成(提出用) ○株主総会開催(校外学習) ※講師 <実施内容> 会場：東京証券取引所 対象：東京証券取引所の投資家校(株主) 内容：これまでの学習の成果をプレゼンする。 ※2クラスを年前と年後に分けて行う。
振り返り	【10月】 第33時(1コマ)	○学習の振り返りを行う。

練馬区立豊玉中学校 起業体験プログラム実施計画

- 目的 起業体験を通して、働くことの意義を理解し、自己の生き方を考えるきっかけとする。
- 期間 令和3年6月～10月
- 対象 第2学年
- 内容 <計33時間>

プログラムの流れ	時間	学習内容
事前学習	【6月】 第1時～4時 (4コマ)	○オリエンテーション(1コマ) ・プロジェクト学習の説明(起業体験プログラム含む) ・一つの商品(サービス)と世の中をつなぐを考える。 →すべての仕事は人の役に立つものであることを理解。 ○働く意義を考える(1コマ) ・「なぜ、働くのか？」をテーマに議論する。 ○お金について考える(1コマ) ・将来、いくらかお金が必要かについて調べ、議論する。 ○株式会社について理解する。(1コマ)
テーマの決定	【6月】 第5時 (1コマ)	○商品開発のテーマを決める。 例)SDGの〇の課題を解決するための商品を開発する。 練馬区の地域課題を解決するための商品を開発する。
ビジネスプラン作成 (販売計画)	【6月～7月】 第6時～11時 (6コマ)	○事業計画策定についての説明(1コマ) ※講師 ・起業体験プログラムのルール説明 ・事業計画策定に向けた手順・目的 ・事業計画策定に向けた考え方 ・必要資金算出の考え方 ○事業計画策定(5コマ)
投資家に ビジネスプラン提案	【7月～夏休み】 第12時～16時 (5コマ)	○プレゼンテーション準備(3コマ) ・スライドでプレゼン資料作成 ・プレゼン練習 ○プレゼンテーション本番(2コマ) ※講師 <実施内容> 1コマ目：A組によるプレゼンテーション 参加者(1学年・2学年B組・2年保護者) ポスターセッション形式 ※1人1000円分の特別紙幣→投資 2コマ目：B組によるプレゼンテーション 参加者(3学年・2学年A組・2年保護者) ポスターセッション形式 ※1人1000円分の特別紙幣→投資 プレゼンを動画で撮影し、東京証券取引所の投資家の方に見ていただき、出資をお願いする。

そもそも谷先生自身が起業に興味を持ち、東京証券取引所でも中高校生を対象に株式会社を擬似的に設立・経営体験する起業教育イベントを行なっていることもあり、実施計画を立てる際は東証の方と話し合いながら教材をつくっていった

「夢」と「志」の例として以下二人の違いを考えてみるとわかりやすいかもしれない。「私の夢は医者になることです(お金のため?名譽のため?)」と「私の志は医者になって、病気に苦しむ多くの人に希望を与えることです」

《志の効果》→「志」を持つと、こんな良いことが。

- 目標がはっきりする!**
どう生きるかを定めるか、どんな道に進むのか、自分なりの答えが見えてきます。進むべき道がはっきりすると、あとは思い通りに進んでいきます。
- 力が湧いてくる!**
100%のために行動すると、人はすごいパワーが溢れます。自分の為に頑張るとかえり金も湧いてきますが、それ以上の力を出せるのが志です。
- 生き生きと毎日を送れる!**
目標がはっきりしているため、達成する意味が分かります。時間をムダに過ごすことがなくなります。一日一日が大切に生きていくので、生き生き毎日を送ることができます。

時期	場所	内容
1 始期	教室	アンケート、夢を見つける30秒の練習
2 始期	全体	志を立てる①「夢と志の違いを知ろう!自分の志で自分を知らそう!」
3 始期	全体	志を立てる②「志の方程式をつかって、志を立ててみよう!」
4 始期	教室	志を立てる③「志をもっと、これからの生き方を考えよう!」
5 始期	全体	志を立てる④「仲間と志をシェアしよう!」 自己採カードを書いてみよう! ①志整理 ②中学校生活の中で感じたこと ③高校卒業後の進路について 仲間とシェアしよう。
9～11 始期	教室	高校エントリーシートを作成しよう!① ・自分でじっくりと考える。 ・先生や仲間から意見をもらう。
12～13 始期	教室	高校エントリーシートを作成しよう!② ・プレゼンにまとめる。 ・仲間とシェアする。



「夢」と「志」の違いを明確にし、志を持つことによる効果を意識して毎日をイキイキとすごす生き方を探求しています。

たので残念でした。また、保護者の方にも来ていただき、仮想のお金で商品を購入してもらおうといったことも考えていたのですが、これも実現できませんでした。
とはいえ、生徒同士でプレゼンテーションをし、優れたビジネスプランに投票するという新たな体験は、これまでの職場体験とは違った意義を生徒に感じさせたのではないのでしょうか。商品開発のアイデア出しを楽しみ、資金計画のわずらわしさに苦しむ。そして、商品づくりで再び楽しさを味わうといった生徒が多かったようです。

自分が幸せになりたいが一番強い「夢」と、世の中の多くの人々を幸せにした人が一番強い「志」の違いを明確にし、志を持つことによる効果を意識して毎日をイキイキとすごす生き方を探求しています。

上に掲載した「起業体験プログラム実施計画」の事前学習の中で働く意義やお金について考える際、重要なのは「すべての仕事は人の役に立つものである」ということです。職業観を育成するキャリア教育と夢を志に高める志教育は重なる部分が多いのですが、本校では「志発掘マニュアル」を作成して「志」教育を進めています。

とにかく自分か
自分以外の人々か

地域社会で鍛えられる コミュニケーション力

猪又正己 東京都世田谷区立用賀中学校

生徒同士が本音で話し合わないと、表面的なきれいな結論に達してしまう恐れもあるのが道徳の授業。また、キャリア教育と道徳教育の結びつけも、けっして容易いことではないのが現実。猪又先生が実践する工夫について紹介します。

文／大西洋平 写真／編集部

自分で作成した スライドで身近な 話から始める

道徳は普遍的な正解のない教科だと思えますので、できるだけ生徒たちの日常生活に落とし込んだ内容で授業を進めるように心掛けています。たとえば授業の導入部分では、パワーポイントで作成したオリジナルのスライド（画像データ）を用いながら、クイズ形式で生徒たちに問かけるスタイルで話を進めていきます。

す。一例としては、キャリア教育との関連性は高くないものの、わかりやすいものとして挙げられるのが「言葉の向こうに」という教材で用いたスライドでしょう。SNS上の書き込みで発生したコミュニケーション上のトラブルとその原因、解決策を考えることで、人によって様々な考え方があり、自分とは異なる意見を受け止める寛容さと相互理解が大切だという心情を養うのがねらいです。私の授業では、まず教科書の内容には一切触れずにお菓子のような好みの分かれる身近な例をいくつか

挙げて多数派と少数派の話を進めます。そして、各々の生徒たちに「自身はどちら派なのか？」と問いかけるわけです。非常に身近な話題なのでどの生徒も積極的に手を挙げて大いに盛り上がるのですが、それだけで終わってしまうとただのクイズ大会になってしまうので、「恋愛と仕事」や「恋愛とお金」などといった、少し考えるテーマにシフトします。最後に時事ニュースを使います。この時は、目の不自由な方が地下鉄のホームから線路に転落した事故を取り上げ「すべての駅にホームドア

を設置したほうがいい？」と問いかけてみます。生徒たちは拳手を止めて考え込みます。なぜなら即答できるテーマではないからです。そこで、賛成と反対のどちらなのかについて挙手してもらったうえで、その理由について尋ねていきます。すると「人命を守るために設置すべきだ」という意見のみならず「すべてのホームに設置するのは費用も出てきて、個々の価値観に違いがあることが浮き彫りになります。私はこうした状況を踏まえて「お



猪又正己 いのまたまさき

1995年生まれ。社会科が専門教科で、地域の地理や歴史とキャリア教育、道徳教育を結びつけ、将来を見ずえられる実践的な授業を目指す。テニス部顧問でプライベートでもテニスを楽しむ。

道徳

あなたの抱いている夢は何ですか？

後ろに書こう

若かりし(中学生)頃の先生たちの夢って何だったの？



自分の夢に関する道徳の授業では、教員自身が中学時代に抱い

ていた夢についても紹介し、生徒が躊躇なく自分の思いを語りやすい土壌を整える。ちなみに猪又先生は、中学・高校時代の社会科教師の影響で文学部史学科に進んだ。



「言葉の向こうに」という教材の導入時に用いた猪又先生オリジナルのスライド。まずはロングセラーのお菓子など、子どもたちに身近な話題に関する「多数派・少数派」を取り上げながら関心を高め、次第に教材のテーマとなっている「寛容さと相互理解」に関する議論へと彼らを導いていく。

尻尾は？



食べる

食べない



34%

66%

職場体験を終えると生徒の顔つきが一変

当校では1年時に卒業生を招き「職業講話」を行い、社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を道徳の時間でも実施しています。こうした授業で刺激を受けたり触発されたりしたことに加え、自分の夢についても考えながら、冬休みの宿題として身近な人の仕事を研究する「職業調べ」を行い、新学期に発表する取り組みをしています。

親の仕事を選ぶ生徒が多いのですが、近所の商店街にあるたこ焼き屋さんや、警備のような裏方の仕事、さらにクラブのコーチなど、意外な職業を取り上げる生徒も少なくないの驚かされます。

2年生のときに実施するのは職場体験で、受け入れ側の選定は学校が行っていますが、生徒たちには実際

にアポイントを入れるところから始めます。職場体験では「勤労」ともに道徳のテーマである「礼儀」についても学んでほしいからです。

印象深いのは、職場体験を終えると子どもたちの顔つきが一変すること。3日間の体験を通じて、さまざまな気づきが得られている様子を感じ取れます。たとえば近所の洋菓子店で働いた生徒はこんな感想を口にしていました。

「ケーキに包装フィルムを貼る作業を任せてもらったら大変で、今まで何も気にせず取っていたけど、商品を美しく見せることが大事なのだと気づきました」

また、アルバイト並みの仕事量を与えて鍛えてくれるところもあります。スーパーの仕事を経験した生徒は「あの店にはしばらく足を運びたくない」とぼやいていましたが、働くことの大変さを学び取ったことで、職場体験を通じて地域の人たちに愛情をもって鍛えてもらった結果、子どもたちのコミュニケーション能力が明らかに高まっていることも痛感しています。

中学校生活のキャリア教育を行いながら、道徳の授業で一度立ち止まって考える機会にしています。

障がい者の秘めた能力を發揮して 人生を豊かに過ごしてほしい！

高橋陽子 ダンウェイ株式会社代表取締役社長

お子さんに重度の知的障がいがあることがわかり、それをきっかけに障がい者支援事業所を設立した高橋陽子さん。
障がい者の能力を見える化できる「シームレスバディ」を開発し、働き自立する第一歩を踏み出せることを目指しています。

文／森田健司 写真／末松正義



高橋陽子 たかはし ようこ

大学を卒業後、上場企業を皮切りに3つの会社を経て、2010年4月、社会保険労務士事務所を開業。2011年1月、ダンウェイ株式会社を設立、代表取締役社長に。

認めたくなかった 我が子の障がい

高橋陽子さんが代表取締役社長を務めるダンウェイ株式会社は、神奈川県川崎市や横浜市を中心に、障がい者や障がい児の潜在的な才能や長所を伸ばし、労働生産性を追求する障がい者就労支援事業を主として展開しています。

「ダンウェイは2011年1月川崎市に設立しましたが、それまで私は会社員として3社経験しています。3社とも部署は総務系で、3社目では16年在籍して育休を2回取らせていただきました。最後の5年くらいは障がい者

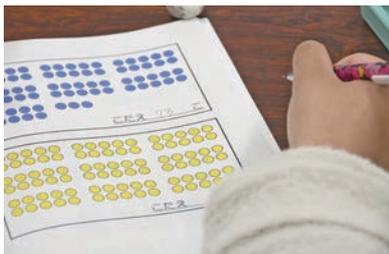
雇用の特例子会社の立ち上げをやらせていただきました。総務が調整役になって制度設計やさまざまな整理をしてつなぐといったことをしました」

その仕事に携わって、どんどん興味が出てきていた中で、ご自分の3歳の長男が重度の知的障がい、自閉症であることがわかりました。

「自分子どもが障がい児だとは自分自身でなかなか認められず、私自身、どんどん殻に閉じこもってしまいました。そして、苦しくて仕方がないときに相談させていただいたのが、障がい者雇用の特例子会社立ち上げについての私の先生ともいえる方でした。『お子さんに簡単なお手伝いをさせてあげること



ダンウェイのトレーニングは障がいの程度で異なる。数字が苦手な方からマニュアルを確認しながらICT 治具で作業を行う子までさまざまだが、共通しているのは個別に丁寧な指導を行い経済的な自立に向けて踏み出せるようにすることだ



可能性を勝手に奪ってはならない

なんじゃないかな」というアドバイスですごく楽になりました」

高橋さんは子どもの将来のために、それまでの現場経験を生かして細々と自宅で仕事をしようと社会保険労務士の資格取得を決意しました。障がいのある長男の自立のサポートを考えると、小学校1年生に上がる頃に自分がフルで働くのは難しいと思ったからです。それを逆算して2人目の子どもの育休のとき、資格取得に向け奮闘。このときも家族や親戚などの協力を得られ、無事取得することができました。

ダンウェイでは「私たちの原点」として社内外に示し、高橋さんが決して忘れることができない出来事が二つあります。

「長男が保育園に通っている頃、お勉強を重視する方向に変わり、進級テストがありました。ある朝、保育園に行ったところ、進級テストの合格者が貼

り出されていたのです。テストの日すら教えてもらえず、テストが終わっていたのを知ったのです。障がいのある子やその家族の人生は、大人が勝手に決めてしまうのだとショックでした」

高橋さんが、障がいがあるうとなかろうと誰にでも機会は無平等にあるべきだ、人の可能性は無限なのだからという想いを強く感じた出来事です。もう一つは長男が小学1年生の頃のこと。

「小学校6年間のうちに長男が友達と一緒に通学できるようになったらいいなという願いから、友達3人と長男、私の5人で学校に通っていました。危険だから私は長男の手を絶対に放すなとまわりから言われていました。ある朝、1人の女の子が私に提案してきました。『遼くん（長男）ママ、そうやってずーっと遼くんの手をつないでいると、遼くんはいつまでたっても1人で学校に行けないよ。今日から手を放そう。1日目は1本目の電信柱まで、2日目は2本目、10日たったら学校に行けるよ』。あれよあれよという間に友達は長男の手を私から放してしまい、手をつながなくても登校できたのです。そのとき、大人はなぜ長男の手を放すなど言ったのだろう？ 登校風景を見たこともないのにと思ったのです。人はみなダイヤモンドの原石、磨けば必ず光る。その

可能性をまわりが固定概念で勝手に奪ってはいけない、と考えさせてくれた出来事でした」

単純軽作業ではんのわずかな日当の労働ではなく、インテルとの協働により誕生したホームページ制作ソフト



「ICT治具」で企業や団体、商店などのサイトを開設や、障がいのある人の成長記録データベースをもとにキャリアをサポートしていくカルテ「シームレスバディ」の特許取得など、障がい者の自立、主体的な社会参画を目指す取り組みで大きな注目を集めるダンウェイ。同社のチャレンジはこれからも続くようです。

すぐに役立つデジタル授業のツボ④

生徒との「コミュニケーションがより円滑に」
「デジタルホワイトボード」**「ジャムボード」**

小倉千明 ジャーナリスト

そろそろ使い慣れてきたはずの通信技術を活用したコミュニケーション「ICT（インフォメーション・ア
ンド・コミュニケーション・テクノロジー）」。「授業で使えるお役立ち情報をご紹介しますが、今回取り上
げるのは「Google Jamboard（ジャムボード）」です。ジャムボードとは、デジタル版ホワイトボ
ードのこと。私達が通常使っているホワイトボードと同じように使えるだけでなく、それ以上の便利機能も。

授業しながら板書するように
リアルタイムに反映される

ジャムボードでは「文字や図を貼り付ける」「付箋を貼る」「手書きをする」という3つのことが可能です。もちろん先生も生徒も使えます。オンライン授業の場合などは、特に先生が一方的に話すだけで、生徒とのコミュニケーションの機会が失われてしまいがち。生徒と双方向にやりとりしたい時、意見を集めたい時に、ジャムボードが有効です。口頭だけでは説明しづらい内容もジャムボードを板書のように使うことで、生徒たちはより理解を深められます。図やイラストを表示できるという意味では、スライドショーやパワーポイントと似ていますが、大きく異なるところは、書いたり消した内容がリアルタイムに反映できること。準備した画像や資料をジャムボードに貼り付けて、タッチペンで書き加えながら説明するとよりスムーズでしょう。

テンプレート活用でより便利に。
遠隔の生徒も参加できる

生徒も同時にジャムボードに書き込むことができるので、意見交換や比較の場として活用できます。背景を横罫・方眼・カラー・ドットなどに設定変更することもできます。また、ネットからフリーでダウンロードできる、表やグラフなどの様々なテンプレート素材も豊富。毎回同じ構成の表をホワイトボードに書く機会がある場合など、比較表・グラフなど自分が使いやすいテンプレートをいくつか揃えておくと、授業の準備時間も短縮できるでしょう。

さらに、ジャムボードのリンクURLがあれば授業時間以外にも書き込むことが可能。休んでいる生徒や遠隔にいる生徒も参加できるメリットもあります。生徒はいつでもそのジャムボードに書き込みができるので、宿題としても活用できます。

質問：あなただったらAさんかBさんか、
どちらの立場ですか？その理由も教えてください。

人を助けようとしたAさんの気持ちはわかるから。

規則を破ったBさんが悪いと思うが、Aさんにも理由があるので、話を聞くべきだと考える。どちらにも否がある。

彼なりの正義がある。自分の軸があるBさんは凄いなと思う。

A ←
→ B

Google Jamboardは、Googleアプリのうちのひとつなので、PCならクリックするだけ、タブレットなどの端末ならGoogle PlayやApp Storeから無料でダウンロードできる。使い方も簡単。ホワイトボード感覚で、子どもたちと画面共有ができる。利用できる素材も豊富で、テンプレートを用意していれば、授業準備の時短にもつながる



メンバーページへの アクセスを より便利にしました

日本教科書ホームページからメンバーページにアクセスできるようになりました。

以前は、弊社広報誌のQRコードもしくはWebページアドレスの直接入力という二通りの方法のみでアクセスいただいていたメンバーページ

ですが、より利便性を向上させるため、ホームページからも直接アクセスできるよう改修しました。

これからも先生方の道徳授業をサポートできるような資料を公開し、内容を充実させていきますので、ぜひご覧ください。

白木みどり先生の 教科書解説を公開中です

弊社教科書の代表著者である白木みどり先生が、教科書の使い方はもちろん先生方の道徳授業を動画でアドバイスしています。加えてデジタル対応授業の具体的なアイデアなども紹介しています。

また、教科書に込めた「人間尊重」の精神に基づく教材開発への思いも熱く語っております。この春から弊社教科書をお使いの先生から道徳授業に長けた先生まで、ぜひ公開中の動画をご覧ください。



日本教科書の代表著者である白木みどり先生の解説動画は、ホームページ上部のメニューバーからアクセスできる「令和3年度道徳教科書案内」にてご視聴が可能です

メンバーページへのアクセス

① 日本教科書ホームページ下部の「日本教科書メンバーページ」ボタンを選択します。

② 「日本教科書メンバーページについて」が表示されますので「メンバーページにアクセス」ボタンを選択。

③ 表示された画面のパスワード入力欄に、広報誌記載のパスワード「nikkameber」を入力下さい。



メンバーページでは、授業支援資料を随時アップロードしてまいります。このような資料があったら便利というご要望、ご意見などがありましたら「日本教科書メンバーページについて」内記載の連絡先または、弊社HP「お問い合わせ」メールフォームからご連絡ください。また、アクセスができない、格納されているデータがダウンロードできないといったことがありましたら同様にご連絡ください

評価文例集からオリジナルの評価文を時短作成できます

道徳の授業での評価は、年間指導計画（ホームページ内に格納）に従って授業を進め、評価の材料を蓄積し

ていきますが、弊社のメンバーページには「評価文例集」を格納していただけます。これを参考にすれば効率よく

評価文が作成できます。ぜひお試しください。

ワークシートがダウンロードできます

メンバーページに新たな授業用資料を追加、更新しました。弊社道徳中学1年『生き方から学ぶ』、2年生『生き方を見つめる』、3年『生き方を創造する』の指導書に同梱しているDVDに納めている授業用ワークシートをメンバーページに格納しました。

いや記入欄は、授業や生徒の実態にあわせて変更したり、野線を追加したり着色することもできますのでアレンジすることができるようになっています。

使い勝手を考慮し、Word・Googleドキュメント2通りのデータ形式で配布しています。問

ワークシートは問いや記入欄の変更、野線の追加以外にも、図や画像を挿入することもできます。地域教材など、独自教材を用いた授業のワークシート作成にもご利用ください

③ 顕著な活動のあった教材

教材名	書き出し	顕著な活動のあった教材	授業
マナーとルール	授業では、教材の内容に対する自分の思いをもとに、課題に対してしっかりと考えています。	「マナーとルール」の授業では、自分の行動を振り返りながら、きまりを守る意義についてしっかりと考えています。	

「教材名」で選択した単元に連動した評価文例が3例表示されるので、そこから選択します。

① 教材名

出席番号	氏名	教材名	書き出し
		マナーとルール	
		マナーとルール	
		15分間のクリーン作戦	
		百歳の詩人	
		ネット得棋	
		ロックンローラー	
		「道」の文化	
		二人の剣士	

プルダウンリストから教材名を選択。

④ 授業での活動

顕著な活動のあった教材	授業での活動	共通評価
「マナーとルール」の授業では、自分の行動を振り返りながら、きまりを守る意義についての考えを深めていました。	いつも自分の考えや意見を、積極的に挙手話し合いの活動では、班長としてスムーズ自分の考えや他の意見を、これからの積極的に挙手して発言しています。課題に対して、しっかりと考えており、自分の考えをみんなに伝えようとしています。	

プルダウンリストから生徒の授業での活動にあわせた文例を選択。

② 書き出し

教材名	書き出し	顕著な活動のあった教材
マナーとルール	授業では、自分の知識や情報を生かして、多面的に課題を捉え、教材の内容に対する自分の思いをもとに、課題に対してしっかりと取り組み、自分と重ね合わせた授業では、いつもまじめに取り組み、学んでいます。	

プルダウンリストから生徒の実態に合わせた書き出し文例を選択。

道徳評価文例集のExcelファイルには、より詳細な使い方を記載しました。印刷してマニュアルとしてもご利用いただけます。その他にも、文例集作成にあたっての解説や留意点なども記載しています

⑤ 評価文例完成

評価文例
授業では、教材をしっかりと読み取り、自分と重ね合わせながら考えています。「マナーとルール」の授業では、自分の行動を振り返りながら、きまりを守る意義についての考えを深めていました。積極的に挙手して発言しています。課題に対して、しっかりと考えており、自分の考えをみんなに伝えようとしています。

①から④までで選択した文例が「評価文例」の欄に表示されます。

2 命をつくるもの

組 氏名:

・「食べる」から連想される言葉を考えましょう。

・「食べるという根拠が抜ける」と、どうして「絶ての実態を正しく直感できなくなる」のでしょうか。

発問は生徒や学校の実態に合わせて変更可能

友だちの意見

自分の生活習慣で改善したいことはありますか。

記入欄は野線をつけるなど自由にアレンジ可能

授業の感想

授業を振り返ってみよう

- ・意欲的に授業に取り組むことができた
- ・新たな学びを得ることができた
- ・クラスメイトの意見を聞いて

考えを深めたり、新たな気づきがあったりした。

A: とてもあてはまる I: まああてはまる
 W: あてはまらない E: 全くあてはまらない

全教材の発問例を二挙に公開しました

道徳授業の発問は、基本的には教科書の発問や、指導書の発問を参考にしていると思いますが、時には、授業するクラスの実態に合っていない、教科書の発問、指導書の発問ではしっくりこないと感じることがあるかもしれません。あるいは、発問の

意図を生徒たちが先回りして、自分の考えとはかけ離れた模範的な「正解」を導きだそうとすることはないでしょうか。そのようなときに使っていただきたいのが、今回一挙に公開した応用発問集です。弊社1年から3年の

全教材を洗い出し、教科書や指導書の発問に追加する形でご用意いたしました。基本発問、中心発問、主題に迫る発問は、現在ある発問の差し替え用です。また、クラスの実情に合わせて、先生ご自身で発問を作る際の参考用としてもお使いいただけます。



まずは、ダウンロードして、授業にご活用ください。

基本発問・中心発問・主題に迫る発問の三つの分類で、発達段階などにあわせられる発問例。クラスの状況に適した発問例を選んで利用できます。

発問例 1年生

教材名	内容項目	発問
おはよう	B7 礼儀	基本発問 <ul style="list-style-type: none"> 「母や近所のおばさんたちが、『うちの子はまだごあいさつできませんで……。』などという話について、あなたはどう思いますか。 「わかりきったことをいいあうよりも、おたがいに誠意を持っていることこそだいじなのではないか」という「わたし」の考えをあなたはどう思いますか。
		中心発問 <ul style="list-style-type: none"> 「誠意はだまっていでも通じるはずだ」という「わたし」考えをあなたはどう思いますか。 「あやふやな『おはよう』とはっきりした『おはよう』の違いは何だと、あなたは思いますか。 「『おはよう』にも、りっぱなのとそうでないのがある」とはどういうことだと、あなたは思いますか。
		主題に迫る発問 <ul style="list-style-type: none"> 「その場にふさわしいあいさつについてあなたはどのように考えていますか。 あなたにとってのあいさつの意義とは何でしょうか。
銀色のシャープペンシル	A1 自主、自律、誠実と責任	基本発問 <ul style="list-style-type: none"> 「拾ったシャープペンシルを『自分で買った』と言った時、『ぼく』はどんな気持ちだったでしょうか。 シャープを卓也のロッカーに突っ込んだ「ぼく」の行為を、あなたはどう思いますか。 「『おはよう』が書いてあると、とたんに声も耳元から遠くなったんだ。」と考える「ぼく」もう一人の「ぼく」になって、反論
		中心発問 <ul style="list-style-type: none"> あなたが「ぼく」の立場だったら、卓也の家に向かって歩き出した時、どんな気持ちになっていると思いますか。 オリオン座を見た「ぼく」はどんな気持ちになっていると、あなたは思いますか。
		主題に迫る発問 <ul style="list-style-type: none"> 誠実(せいじつ)な行動をするためにあなたはどんなことが必要だと思いますか。 判断(はんだん)したことに責任をもつ」ということについて、自分の考えをまとめましょう。 誘惑(ゆうわく)に負けず、自分で判断するためには、どんな心構え(こころがまえ)が必要だと思いますか。
僕じゃないのに	C10 道徳精神、公德心	基本発問 <ul style="list-style-type: none"> ごみを捨てなさいと注意する「おじさん」のことを、あなたはどう思いますか。 なぜ、「おじさん」は「僕たち」に声をかけてきたと、あなたは思いますか。 「敵(ち)らかったのは、僕たちじゃありません。もともとこうなっていたのです。」と言った「僕」を、あなたはどう思いますか。
		中心発問 <ul style="list-style-type: none"> 「公園を汚(よご)したのは僕じゃないのに。」という最後(さいご)のつぶやきを、あなたはどう思いますか。 「腰(こし)をかがめながら公園のごみを拾っている「おじさん」の姿(すがた)を見て、「僕」はどう思ったでしょうか。 おじさんによって、きれいになった公園を見たら、あなたはどんな感じますか。
		主題に迫る発問 <ul style="list-style-type: none"> みんながどのような気持ちを持って、公園のごみ捨てのような迷惑(めいわく)行為(こうい)が起こらないようになるでしょうか。 自分のマナーについて、今後、どのようなことに気をつけていきたいですか。 みんなが使う場所や物で活動する時に、あなたが気をつけたことはどんなことですか。
過去からのメッセージ	D19 生命の尊さ	基本発問 <ul style="list-style-type: none"> 「きちんと編(あ)んだおさげ髪(かみ)に、着たこともない矢(や)がすり柄(がら)の着(き)物(ぶつ)姿(すがた)の土(つち)の前の柿(かき)の木(き)の下(した)にたたずんでいる「私(わたし)」に似(に)いた人の写真(しやうしん)を見た時(とき)、「私(わたし)」はどんな気持ちになっていたでしょうか。
		中心発問 <ul style="list-style-type: none"> あなたが「私(わたし)」のように、同じような写真を見た時、どんな気持ちになると思いますか。 「生命(いのち)の火(か)が光子(こうし)にまで伝えられたということやねえ。」という言葉を、あなたはどう感じましたか。 写真の人が「お爺(おや)ちゃんのお婆(おば)ちゃん」ということを知(し)った時(とき)「私(わたし)」はどんな気持ちだったでしょうか。
		主題に迫る発問 <ul style="list-style-type: none"> 受け継(ついで)がれていく命(いのち)について、どう思いますか。 命(いのち)の大切(たいせつ)さについて、あなたはどう思いますか。 これからの自分の人生(じんせい)を生きていく上で、どのようなことを大切にしていきたいですか。

発問ごとにコピー・ペーストや文章の変更も可能。オリジナルの組み合わせ、発問で授業がしやすくなります。

新刊紹介



中学校道徳科 ゼロからわかる 授業づくり

藤永啓吾著

専門教科と違って道徳科の授業は難いとお悩みの先生に向けた一冊。著者はその理由を「生徒の反応少ない」「教科書の内容が難解」「授業のつくり方がわからない」の3つを上げ、先生方の悩みを、マンガを使いながら具体的かつ平易に対策をまとめている。生徒との対話のポイントなどにも言及した実践的な道徳科おたすけ本に仕上がっている。(東洋館出版社 税込2,310円)

出会い、ふれあい、学びあう

「生き方」から学び、「生き方」を見つめ、「生き方」を創造する。
これが私たちの目指す「道徳」です。

先生方の授業をアシストする
メンバーページのアクセスが便利になりました。

メンバーページへのアクセス方法

日本教科書のメンバーページには、
右記のQRコードを読み込んでいただくか、



<https://www.nihon-kyokasho.co.jp/nikka-memberpage/>
を表示していただき、
パスワードを入力してアクセスしてください。

また、弊社ホームページ <https://www.nihon-kyokasho.co.jp> からメンバーページに直接アクセスできるようになりました。「お知らせ」下の「日本教科書メンバーページ」をクリックいただくと、「メンバーページにアクセス」のボタンが表示されますので、こちらをクリックしてください。次の画面でパスワードを入力していただくとメンバーページに入れ、評価文例集、ワークシート、発問集をダウンロードできます。



日科 中学道徳通信 vol.7 令和4年9月15日発行

発行所 日本教科書株式会社
発行人 奈良 威
編集人 三星雅人

デザイン ランドリーグラフィックス
表紙イラスト 青木俊直

本資料は、一般社団法人日本教科書協会
「教科書発行者行動規約」に則り、作成されています。
本書の無断転載・複製を禁じます。



道徳専門の教科書会社
日本教科書株式会社

〒150-0011
東京都渋谷区東 1-11-3
電話：03-3518-6345 FAX:03-3219-0660
<http://nihon-kyokasho.co.jp>